

「日々の理科」(第 4016 号) 2025, -8, -5

「北海道一周鉄道旅行 (20)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka



知床斜里駅では網走行の普通列車とすれちがいます。朝の時間帯は網走行が比較的多いですが、ほとんどは高校生の通学のためでしょう。



「川湯温泉」に着きました。ここでもすれちがいの為に何分か停車します。学生時代の旅行では、こういう短時間の停車中に改札口に走って、駅の入場券を購入したものです。そういう人が多かったと思います。



大抵の駅には「側線」があります。かつて「貨物扱い」をしていた名残でしょう。もう何十年も使われて

いないのでしょう。放置された線路は森の中に消えて、不思議な風景を創っていました。



続いて「摩周駅」に到着です。かつては「弟子屈(てしかが)」という駅名でしたが、摩周湖、屈斜路湖などの観光拠点の一つとして名称が変わりました。

この駅は、高倉健さん主演の「遙かなる山の呼び声」のラストシーンのロケ地にもなりました。倍賞千恵子さんが網走に護送される高倉健さんの列車に乗り込む、あの有名なシーンです。映画の設定では「遠軽駅」となっていますが、実際にはこの駅が使われました。映画の中でも、窓越しに一瞬「てしかが(弟子屈)」の駅名板が見えます。



「茅沼(かやぬま)」に停車しました。「タンチョウの来る駅」という宣伝文句は本当で、私は一回この駅のホームから丹頂鶴を見たことがあります。



向かいの座席に天皇陛下によく似た方が座っていましたが、どう見てもこの列車は「お召列車」には見えないので、たぶん人違いでしょう。



「塘路（とうろ）」という駅に停車しました。この駅は釧路湿原の北端付近にあり、釧網本線ではかなり乗降客が多い駅です。この日も、釧路からバスで来た中高年の団体さん（30人ぐらい）がドヤドヤ乗り込んで、列車は超満員になってしまいました。



蛾も乗り込んできました。窓枠にくっついていました。



よく見たら蛾ではなく蝶でした。触角の先端がふくらんでいるのでわかります。たぶん「コチャバナセセリ（小茶羽掬）」だと思います。この蝶は相当に根性

があって、結局終着の釧路駅までずっと「乗車」していました。たぶん「大人の休日倶楽部」に入会している「中高年蝶」なのでしょう。



釧路が近づくと、左側からもう一本の線路が合流してきます。これは「根室本線」の線路です。



釧路の一つ手前で「東釧路」に停車します。この駅は現在「道東唯一の分岐駅」になっています。「釧網本線」は正式には網走～東釧路間で、ここから釧路までは「根室本線」の線路を走ることになります。



釧路の手前で、釧路湿原を流れてきた「釧路川」を渡ります。赤い橋は釧路のシンボル「幣舞橋（ぬさまいばし）」ではなく「旭橋」という橋です。